

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< A区分 > 大阪城北詰・京橋駅自転車駐車場、桜ノ宮駅自転車駐車場、野江内代駅自転車駐車場、都島駅自転車駐車場、JR玉造駅自転車駐車場、新深江駅自転車駐車場、地下鉄今里駅自転車駐車場、鶴橋駅自転車駐車場、深江橋駅自転車駐車場、緑橋駅自転車駐車場、清水駅自転車駐車場、新森古市駅自転車駐車場、関目高殿駅自転車駐車場、千林大宮駅自転車駐車場、太子橋今市駅自転車駐車場、今福鶴見駅自転車駐車場、蒲生四丁目駅自転車駐車場、鳴野駅自転車駐車場、関目成育・関目駅自転車駐車場、放出駅自転車駐車場、横堤駅自転車駐車場、地下鉄玉造駅自転車駐車場、鶴見緑地駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局総務部管理課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち87%以上
指定管理者名	サイカパーキング連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	87%
年度実績	98.6%
達成率	113.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度差
利用台数（定期）	164,502	163,329	1,173
利用台数（一時）	3,013,008	3,027,352	-14,344
利用率（定期）	74.1%	74.1%	0.0%
利用率（一時）	108.0%	109.6%	-1.6%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	650,155,085	650,855,610	-61,278,915	新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。
	計画	711,434,000	711,434,000		
その他収入（自主事業収入）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	650,155,085	650,855,610	-61,278,915	
	計画	711,434,000	711,434,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	292,930,288	270,528,009	40,108,288	計画時の想定より、最低賃金が上昇したため。
	計画	252,822,000	249,005,000		
管理費	実績	450,144,914	418,079,109	49,170,914	計画時の想定より、修繕費用が増加したこと及び物価上昇による原価が上昇したため。
	計画	400,974,000	401,910,000		
その他事業費（自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	743,075,202	688,607,118	89,279,202	
	計画	653,796,000	650,915,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	113.3%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：（安心・信頼、服装・身だしなみ、施設の快適さ、掲示物の見やすさ、整理整頓（自転車）、挨拶・接客態度、説明・コミュニケーション） 調査方法（期間）：アンケート調査（非常に良い・良い・普通・悪いの4段階評価） 新森古市駅を除く22駐輪場（令和7年1月27日～2月28日） 回答率：42.6% （22駅（配布2,950枚 回収1,256枚）） 結果の算出方法：上記の実施内容（質問項目）の総合評価 結果：非常に良い・良い・普通 98.6% 悪い1.4%
--

6 外部専門家意見

・前年度比較では利用料収入はほぼ横ばい、収支△92,920千円となっており大幅な計画未達状態である。収支が大幅なマイナスの状態が継続しており、事業の継続性に懸念がある。今後の事業方針や収支改善策の検討が必要。また、人件費及び管理費が前年度比8%増加となっているが、人件費は人数と単価に分けて、修繕費用は計画に対して何が増加したのかを具体的に記載・分析する必要がある。 ・事業報告の経費削減の取組は、実績数値、前年度数値、計画数値とそれぞれ比較した内容を削減した数値とともに記載する必要がある。経費が増加している状況であるため、まず増加した理由とその金額を明示した上で、効率化の記載をする必要がある。 ・他区分に比べて差異が大きいことから、計画あるいは支出を根本的に見直すことが安定的な経営・運営につながると考える。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において、「非常に良い・良い・普通」評価の割合が98.6%であった。 ・成果指標は達成しているものの、新紙幣、新硬貨への対応不備に対する改善要望が多数見受けられることから、当該意見等を踏まえ、利用者満足度の向上につながるよう施設の管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・提案どおりの基本納付金額を納め、計画どおりの市費削減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・放置自転車啓発活動を区役所、地元協議会、関係各所と実施し、放置自転車対策に寄与した。 ・利用者の多い施設を対象に、看板の美装化を行った。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施していることを確認した。なお、いくつかの現場で、救急箱の中身が期限切れのものであることが実地調査において発覚したため、全現場での改善を求めた（対応済）。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・啓発活動への多数の参加は評価できる。 ・外部専門家意見にもあるとおり、事業方針や収支改善策を検討した上で、新紙幣、新硬貨への対応を早急に進めるなど、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。